

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員のCN、GX、生物多様性、DXなどの取組事例

実施主体	大山土木 株式会社			
区分	CN (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	GX (グリーンTRANSフォーメーション) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素化社会を構築しようとする取り組み	NP (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	DX (デジタルTRANSフォーメーション) データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。
	○	○	○	
取組名称	G-クレジットの購入 ～カーボンオフセットの推進の取り組み～			
具体的な取組内容	カーボンオフセット（企業活動における温室効果ガス排出量のうち削減困難な量をほかの場所で実現した排出削減や森林吸収量で埋め合わせること）を推進するため、岐阜県独自の認定制度である「脱炭素社会ぎふ」・森林吸収量認証制度（G-クレジット制度）を活用し「脱炭素社会」の実現に貢献するため、クレジットの購入を申請中（5トン）。			
経費	5万円程度を想定			
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ Co2等の削減に取り組み ・ 環境社会及び地域社会に貢献する企業としての価値向上と企業としての社会的責任の啓発活動 ・ 付加価値として工事評定点の加点（岐阜県） ※ SDGs 7/13に該当			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ クレジットの供給量がまだまだ少ない。（供給側への周知が必要） 			
備考欄				